

苅尾電波塔

「苅尾（かりお）」とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人達は親しみをこめて
「かりお」の名前を使っています。

もくじ

お知らせ

—千町原 夏の保全活動のご案内

活動報告

- 龍頭山の野鳥観察会
- モリアオガエルの観察会
- 天狗石山の植物観察会
- せどやまの植物観察会

観察会案内

- 夏休み親子観察会
- 滝山川の水生生物観察会
- 可愛川の水生生物観察会
- 深入山の植物観察会

お知らせ

●千町原 夏の保全活動のご案内

毎年恒例になってきた、千町原の夏の保全活動を今年も実施します。夏の八幡高原で、一緒にさわやかな汗を流しませんか？自分たちで手入れをした後の草原を歩く楽しみは、格別な思いを感じさせてくれます。

この保全活動は、草原の美しい景観を取り戻すための作業であり、外来種（オオハンゴウソウ）の除去をします。みんなの力で、美しい千町原の草原を維持しましょう！

キッズプログラムもご用意しておりますので、子供さんの参加も大歓迎です。

保険手続きやお飲み物の用意がありますので、必ず事前にお申し込みください。みなさまのご参加をお待ちしています。

開催日時：2015年8月1日（土） 8:00

※午前中で終了予定

集合場所：山麓庵

参加費:500円

申し込み締め切り：7月24日（金）

※申し込みされた方に詳細を郵送します

観察会報告

●龍頭山の野鳥観察会

開催日時：2015年6月13日（土） 6:00

講師：上野吉雄

青空の広がる心地よい早朝、集合場所のどんぐり村駐車場に13名の参加者が集合しました。集合場所で受付を終えたあと、それぞれの車に乗り込んで、今回の目的地である龍頭山ふもとの駐車場へと出発しました。

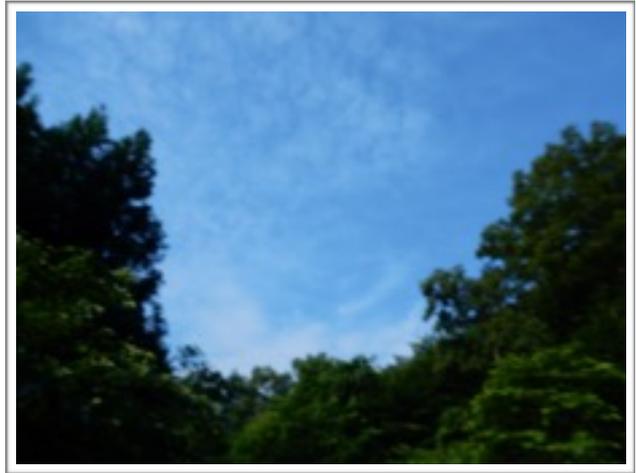
駐車場で改めて今回の講師である上野先生の紹介をしていたところ、早速鳥のお出迎えがありました。せわしなく頭上を行き交う小さな小さな二羽の小鳥、ヤマガラの成鳥と幼鳥です。幼鳥は、オレンジ色の目立つ親よりも、シジュウカラに似たかなり地味な色をしており、その違いがはっきりと観察出来る機会に恵まれてラッキー！

一瞬でしたが、サシバも頭上を横切ってくれました。ほんの一瞬で「あれはサシバだ」と断言する上野先生の目はどうなっているのか知りたくなりました。

キビタキはオスも子育てをする鳥なので、今鳴いているキビタキのオスはペアになりそこねたオスだということ、ウグイスはメスのみが子育てをする鳥なので今鳴いているオスはあぶれているわけではないということなど、鳥の種類によっての生態の違いも、上野先生に教えてもらいながら山道を歩いていると、上空で「ピリピリピリー」と甲高いせえずりが聞こえてきました。絶滅危惧種にも指定されている珍しい鳥、サンショウクイのおでましです。鳴き声のピリピリピリが、サンショウウを食べてピリピリしていると聞き取れるので、この名前がついたんだとか。この日はとてもついていて、オスとメス、両方ともサンショウクイを確認することが出来ました。

会も終わりに近づき、駐車場あたりに再び降りたところでは、「ホイホイホイー」という独特のサンコウチョウの声がかなりはっきりと聞こえてきました。近くにいて、どこだどこだ？と探している私たちの頭上をからかうかのように、長い尾をしたオスがスーッと横切って再び姿を消しました。一瞬だけで

したが、姿を確認できたので嬉しかったです。今回の野鳥観察会で会えた鳥は20種類。絶滅危惧種に指定されているサンショウクイにも会うことが出来て、いろいろと収穫のある観察会となりました。[まえだふせ]



青空が広がる、さわやかな朝。



駐車場でさっそく鳥のお出迎えがありました。



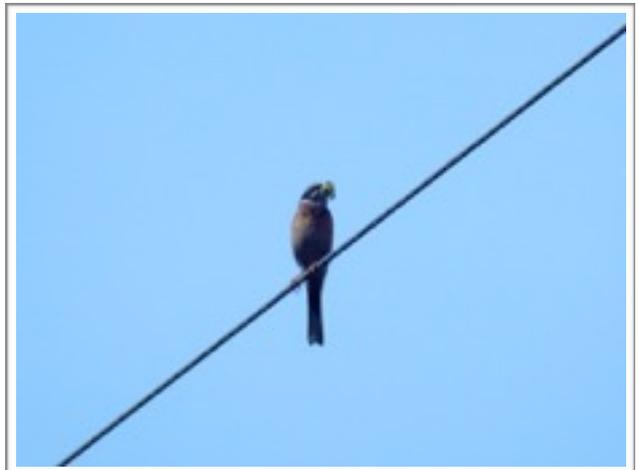
あの鳥はなんだろう？



絶滅危惧種，サンショウクイのオス発見！



鳥を求めて山道を移動中。



お食事中のホオジロもいました。



じっくり観察しているその先に…

【みなさんの印象に残った物】

「サンショウクイをしっかりと見ることができました(5)」「サシバに会えたこと」「サンショウクイのオスとメス」「サンコウチョウが見れたこと」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「キビタキ，サンコウチョウ，サンショウクイなどの鳴き声にいやされました。」「楽しかったです。今ひとつ鳥の声の聞き分けが難しいです。みなさんすごいですね。」「楽しかったです。」「今日も楽しかった」「鳥は初めてでしたが面白かったです。」「サンコウチョウの姿をもう少し見たかった」「勉強になること盛りだくさん」

観察会報告

●モリアオガエルの観察会

開催日時：2015年6月14日（日） 9:30

講師：内藤順一

さわやかな好天に恵まれた当日、原東生活改善センターに8名の参加者が集まりました。

講師の内藤先生が、オスのモリアオガエルの成体と、地面に落ちていたという卵塊を持ってきてくれたので、参加者の人たちは興味津々。白い卵塊に触ってみて「メレンゲみたい」「思った以上にねとねとしてる」と喜んでいました。（この成体と卵塊は終わった後に元の生息地に戻されました）

まずは屋内でしっかりとモリアオガエルについて学んでからフィールドへ繰り出します。写真をたくさん使ったスライドでの勉強は、とてもわかりやすくて為になりました。色素異常の青いアマガエルの写真にはびっくり！内藤先生の解説によると、今日行くフィールドにも、朝確認したところ、モリアオガエルなのに緑色に金粉を散らしたような色素異常の個体を見つけたということなので、見られるかどうか期待に胸が膨らみます。約40分の座学でモリアオガエルについての知識を深めた後は、待ちに待った現地での観察です。

観察地であるため池に到着すると、みんなで隠れているカエルを頑張って探しはじめました。白い卵塊は目立ちますが、葉っぱと同じ緑色のモリアオガエルはなかなか見つかりません。そのような中「おったよ！」と一番最初にカエルを見つけてくれたのは、参加者最年少の男の子でした。内藤先生に色素異常の個体を教えてもらって、見せてもらうことも出来ました。緑色の背中に、小さな黄色のまだら模様があり、本当に金粉を散らしたようなとても綺麗なカエルでした。

卵塊も、色々なところに産み付けられていてびっくりしました。人の目線程度の枝の先というイメージでしたが、中にはかなり高い枝の先や、木の幹に産み付けられている卵塊も！卵塊の下に水さえあれば、かえったオタマジャクシが水の中に落ちることができるから大丈夫ということだそうです。きちんとそ

のように計算して、卵を産み付ける親の知恵に脱帽です。

モリアオガエルの卵塊、成体、おまけで色素異常の個体も見ることができて、今回の観察会は盛りだくさんの内容となりました。
[まえだふせ]



モリアオガエルの成体に興味津々。



しっかりと集中してお勉強。



フィールドに向けて出発です。



落ちていた卵塊も見つけました。



あそこに卵塊があるよ。



よく見ると、オタマジャクシが！



綺麗な色素異常の個体も見見♪

【みなさんの印象に残った物】

「部分的に黄色のモリアオガエルのオス」
「モリアオガエルの卵をたくさん見たこと」
「モリアオガエルを実際に見ることができよかったです。観察の前に内藤先生のスライドの説明も聞くことができ、とてもよく理解ができました」「枝（葉）だけでなく幹にも産んでいたこと。生き残るためにはなんでもすることがすごい」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「久々のため池，楽しかったです」「初めてモリアオガエルの卵やモリアオガエルを見ました。感動しました」「子供も大変勉強になったと思います」「人数が少ないのが残念ですが，毎年楽しみにしています」

観察会報告

●天狗石山の植物観察会

開催日時：2015年6月20日（土）9:30

講師：佐久間智子

梅雨らしい空模様となった当日、天気を心配しながら15名の参加者がユートピアサイオトスキー場の駐車場に集まりました。朝方に雷を伴った大雨が降りましたが、集合の時にはそれも止んでいて、このまま天気が持ってくれることを期待しての開始です。受付を終え、今回の講師である佐久間先生が用意していたカエデの資料を皆さんに配って、さあ出発！皆さんで車を乗り合いしながら、島根県境に近い登山口からのスタートです。

最初はかなり急勾配の登りが続くということで、体を温めることも兼ねてほとんど休憩や説明に時間を割かずに行くことになりました。登り始めると、確かに坂が急でキツイ！きついながらも、道は比較的良好に整備されていたので、多少は歩きやすくホッとしました。道脇にところどころササユリも顔を覗かして、それに癒されながら歩きました。歩いていて気がついたのは、天狗石山のカエデの種類が多さです。木肌がウリ坊の模様似ているという、ウリハダカエデやコハウチワカエデ、ハウチワカエデなど様々なカエデと出会うことが出来ました。一種類ずつ丁寧にカエデの見分け方も教えてもらいながら登っていきます。若いブナ林に入ったあたりで霧がかかってきて、大自然の中にいるのだという雰囲気もしっかりと味わうことが出来ました。

期待していたオオヤマレンゲは咲いてしまったあとで、咲いているところは見れませんでした。綺麗に咲いていたオオナルコユリや出始めのツチアケビ、ハナイカダや両生類の専門家である内藤先生が見つけたハコネサンショウウオの2年目の幼生なども見ることができ、色々な収穫のあった観察会となりました。心配していた雨は、ほぼ下山が終わってからの本降りとなったこともあり、観察会にはほとんど影響がなかったのも、うれしかったです。[まえだふせ]

※集合場所、トイレを貸して下さったユートピアサイオト様、ありがとうございました



佐久間先生の資料と照らし合わせながら観察。



葉の裏をよく見ると、小さい毛が生えていた。



真っ白なウツギの花が満開！！



オオヤマレンゲは残念ながら咲いた後。



出始めのツチアケビもありました。

【みなさんの印象に残った物】

「いろいろなカエデや他の木がたくさん見れました」「カエデの区別がよくわかりました」「はみの捕獲」「オオヤマレンゲの花の咲いているのが見れなくて残念でしたが、他の植物や生物が見れてよかった」「天狗石山のオオヤマレンゲが少なくなっていたこと。もうすこしでなくなる可能性大(2)」「コアジサイ、オオナルコユリ、マムシ」「ハナイカダが見れました。山頂マムシ2、ヤマカガシ1、要注意」「植物の名前をたくさん教えてもらったこと」「マムシをみたこと、ハコネサンショウウオがみれたこと！」



頂上での記念撮影。はいチーズ！

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「マムシやハコネサンショウウオも見てよかった(楽しかった)です」「各草花の名前を知れてよかった」「植物を中心に生きものについても話が聞けてよかったです」「持っておられる知識を惜しみなく出して教えてくださったこと」「雨に遭わず登山できてよかった。これまで行きたかったけど行ったことのないコースを登山できてよかった」「いろいろ教えていただけて楽しかったです」「ゆっくりといろいろなものが見れて満足です。道刈りがしてあったので助かりました」「マムシが怖かったけど生で初めて見たので面白かったです」「植物をたくさん教えてもらったので、とても勉強になった」「ソウシチョウが増加している」



ハコネサンショウウオの幼生も発見。

観察会報告

●せどやまの植物観察会

開催日時：2015年6月28日（日）9:30

講師：佐久間智子・中島康弘

霧雨のような小粒の雨がぱらぱらと降る中、集合場所となった芸北文化ホールに集まった方はなんと31名！初めて参加されるというご家族や、広島市内からの参加者、県外からの参加者など、多様な顔ぶれとなりました。座学では子供さんが集中力が切らないかと心配でしたが、子供さんも含めて皆さん真剣に聞いてらっしゃいました。参加人数といい、座学の真剣度と言い、皆さんのせどやまへの関心が深いということが伺えます。

植物の専門家である佐久間先生、芸北トレッキングガイドであり、今回のフィールドの提供者でもある中島先生によるせどやまについての座学で、せどやまとは家の裏山のことだということを知りました。そして様々な生きものの生息地になっていることなどを学んだ後、車によって芸北国際スキー場近くのフィールドへと出発しました。

早速駐車場付近で出迎えてくれたのは、北広島町の町花でもあるササユリでした。ササユリの可憐な姿に心を和ませながら歩いていくと、小さな流れのない水路を発見。その周りの木々にぶら下がっている、モリアオガエルの卵塊もありました。オスの成体も一匹近くに隠れていて、子供たちはもちろん、大人の参加者も「初めて見た！」「すごく綺麗」と口々に大興奮。植物だけではなく、せどやまには色々な生きものが住んでいるのだと改めて思い知らされます。

せどやまの中に入ると、雨上がりの木陰だからかとても涼しく感じられます。緑が多く、一見変わった植物は何もないように見えるせどやまですが、よくよく見てみると、アキグミ、ノハナショウブ、タンナトリカブトなど本当に多種多様な植物があるのがわかりました。似たような植物でも、先生が一つ一つ丁寧に説明してくれるので、見分け方もきちんと学べて勉強になります。幹がねじれているから「ネジキ」など、植物の名前の由来もしっ

かりと教えてもらえて、ちゃんと覚えることもできました。

今回は子供さんも多く、途中で飽きられたりしないかと心配でしたが、さすがはせどやまに遊びに来る子供たち！！イモリを捕まえたり、ヘビに驚いたり、見つけた植物の名前を先生に聞きに行ったりと、思う存分に楽しんでいてホッとしました。

今回の観察会ではたくさんの植物はもちろん、カエルやヘビなどといった生きものも観察でき、生命にあふれたせどやまの大切さを改めて実感した観察会となりました。[まえだふさ]



せどやまについてまずは勉強。



せどやまに向けてさあ出発！！



町花のササユリが綺麗に咲いていた。



せどやまの中は植物でいっぱい！！



佐久間先生の説明をしっかりと聞く。

【みなさんの印象に残った物】

「身近なところにたくさん植物がありました」「よく草刈りされていた」「イモリをみれたこと」「ササユリがきれいでした(5)」「いろいろな植物を見れたこと(3)」「山里の植物だけでなく、人の生活」「植物の観察でしたがモリアオガエルの卵が木の上でない場所で見られたこと」「里山の植物が多く残っていること」「モリアオガエルのオタマジャクシ(3)」「いろいろな植物を教えてもらったこと」「マムシグサをみたこと(2)」「モリアオガエルは初めて見ました。感動しました」「自然がそのままあるのがよい」「多くのヘビが日向ぼっこにでていた」「ムカゴニンジン」「トンボの幼虫(ヤゴ)を見つけたこと。ヘビを見つけた」「山ナメクジを初めて見たこと(3)」「ハンカイソウ、マムシグサ」「多くの生き物、植物」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「生き物のこともわかりよかったです」「よかった。楽しかった(3)」「せどやまの植物をたくさん見れてよかった(2)」「珍しい植物を多く見ました」「またいろいろな植物を見たい」「自生植物にもっと関心を持ちたい」「良い観察会だった(ゆっくりとしたペース)」「参加してよかった」「たくさん教えてもらいありがとうございました」「イモリをつかまえたこと」「子供が楽しんで参加できてよかったです」「普段山へ入ると？が出て終わりのところを、講師がいるおかげでよかった」「本当にたくさん花に出会えて嬉しい」「とてもよい気分。もっといたかった」「生き物や植物を見つけた。うれしかった」「植物や生き物がいろいろ面白かった」「いろいろな植物やササユリが見れてよかった」「普段なら見過ごしそうな草花をたくさんすることができました」「家族が盛り上がりよかったです」「里山の豊かさの理解に役立つ」「モウセンゴケを最後に見られて珍しい様子に驚きました」

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

●夏休み親子観察会

開催日時：2015年7月20日（月・祝）9:30

集合場所：高原の自然館

講師：岩見潤治・佐久間智子・内藤順一・松田賢

定員：20組（小学生以上の親子）

準備物：ぬれてもよい服、川に入れる脱げない靴、帽子、雨具、着替え、飲み物、タオル

参加費：小学生=100円 大人=無料

霧ヶ谷湿原の中央を流れる川で水生昆虫を観察します。川の中には普段目に付かないような小さな生き物がたくさん！小学生以上の親子でお申し込み下さい。

●滝山川の水生生物観察会

開催日時：2015年7月26日（日）9:30

集合場所：芸北支所駐車場

講師：内藤順一

定員：30名

準備物：ぬれてもよい服、川に入れる脱げない靴、水中メガネ、箱メガネ、網

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

滝山川の平瀬(水深20~30cm)で、川遊びをしながら、水生生物を採集をします。もしかしたら、カワシンジュガイの幼貝が見つかるかも！

●可愛川の水生生物観察会

開催日時：2015年8月2日（日）13:00

集合場所：千代田公民館

講師：内藤順一

定員：30名

準備物：ぬれてもよい服（水着）、川に入れる脱げない靴、水中メガネ、箱メガネ、網

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

千代田地区の可愛川で、特別天然記念物のオオサンショウウオを観察します。事前学習を行ったあと、現地で調査のお手伝いをしていただきます。オオサンショウウオを間近で観察する良い機会です。川に入れる服装、滑りにくく川を歩ける足元でお越し下さい。

●深入山の植物観察会

開催日時：2015年8月29日（土）9:30

集合場所：いこいの村ひろしま 研修室

講師：大竹邦暁、佐久間智子、和田秀次

定員：40名

準備物：基本セット、お弁当

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

毎年の山焼きによって草原が維持されている深入山と、近隣にある雲月山では、植生の違いはあるのでしょうか。座学を行った後、ゆっくりと歩いて観察します。頂上で昼食となりますので、お弁当をご準備ください。

晴れていると暑く感じられる日もありますが、雨が降ったりしているとまだ肌寒く感じる日もある最近の八幡高原です。お天気も晴れたり雨だつたりと目まぐるしく変わるので、体調管理をしっかりとせねば！と思う今日この頃です。[まえだふせ]

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551

広島県山県郡北広島町東八幡原10119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info